

平成20年10月31日

各 位

上場会社名 ジェコス
 代表者 取締役社長 岩本 宣彦
 (コード番号 9991)
 問合せ先責任者 総務担当取締役 横瀬 力
 (TEL 03-3660-0776)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	1,500	1,400	600	16.47
今回発表予想(B)	50,894	2,905	2,625	1,041	28.57
増減額(B-A)	3,894	1,405	1,225	441	――
増減率(%)	8.3	93.7	87.5	73.5	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	47,673	1,943	1,843	649	17.82

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	99,000	3,600	3,400	1,600	43.93
今回発表予想(B)	99,000	4,500	3,800	1,600	43.94
増減額(B-A)	0	900	400	0	――
増減率(%)	0.0	25.0	11.8	0.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	99,417	4,250	4,134	1,562	42.90

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,400	1,400	1,300	600	16.47
今回発表予想(B)	44,863	2,753	2,698	1,363	37.42
増減額(B-A)	3,463	1,353	1,398	763	――
増減率(%)	8.4	96.6	107.5	127.2	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	42,911	1,739	1,745	672	18.46

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	3,100	3,000	1,500	41.19
今回発表予想(B)	87,000	3,800	3,600	1,700	46.68
増減額(B-A)	0	700	600	200	――
増減率(%)	0.0	22.6	20.0	13.3	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	89,692	3,700	3,662	1,347	36.98

修正の理由

1. 第2四半期累計期間(連結・単体)

売上高については、鋼材市況価格が高水準で推移したことなどにより、販売価格が上昇したことで、前回発表予想を上回りました。

また、利益面でも鋼材販売価格の上昇による利益増加が寄与し、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回発表予想を大きく上回る結果となりました。

2. 通期(連結・単体)

当企業集団は、最優先課題である「賃貸単価の改善」に引き続き粘り強く取り組むとともに、金融危機で増幅された事業環境の悪化に対処し、与信管理、採算管理を一層強化する方針であり、第3四半期以降、主に利幅の少ない直送販売の選別受注を強化することとしているため、売上高については、前回発表予想と同額としております。

利益面では、第3四半期以降、鋼材在庫品簿価上昇の影響が現れてくるほか、鋼材市況価格動向が不安定であることなどから、収益環境が厳しくなることが予想されますが、第2四半期までの利益増加額が寄与することもあり、営業利益、経常利益は前回発表予想を上回る見込みであります。

当期純利益では、個別については上記理由により前回発表予想を上回る見込みではありますが、連結については、建機レンタル事業を行なう連結子会社において若干の減益が見込まれるため、前回発表予想と同額としております。

以上